

沼津市総合計画審議会起草委員会 会議の概要

日時：令和元年12月3日(火) 13:55～15:30

場所：沼津市水道部庁舎 3階会議室

資料：次第、資料1-1、1-2、2

1 開会

2 第5次沼津市総合計画基本構想 答申（案）について：審議

事務局より、資料1-1「答申鑑文」、資料1-2「答申（案）」、資料2「基本構想（修正案）」を説明。

○資料2「基本構想（修正案）」について質疑

事務局）基本構想（修正案）まちづくりの柱1-②、「年齢、性別、国籍、障害の有無、価値観や文化の違い」の並び順については、後述の内容に沿った順番に並べた。

委員）沼津市で取り組まなくてはならない課題の重さで、順番にならべるべきだと思う。

委員）優先すべき施策があるのであれば、なるべく反映させた順番で書く方が良いと思う。そういう意味を含めると、多様性を認め合うということは、答申案でも書かれているので、重要事項である。多くの市民が関わる事項について先に書いた方がいいと思う。沼津市の現状と総合計画で必要としている施策を考えると、「性別、年齢、障害の有無、国籍、価値観や文化の違い」の順が妥当かと思う。

事務局）検討する。

事務局）「まちづくりの柱5-④」については、議論のなかで、幼児教育、学校教育、地域、家庭の連携についてがポイントだと思ったので、強調した表現にした。

委員）部会での議論のポイントは、説明のとおりであった。さらに、幼児教育、学校教育の連携だけでなく、それぞれの充実も必要と考えて、充実に努めるという文言を入れていた。

委員）そうすると、「促進するとともに、それらの充実に努めます」にするとより強調された、重みのある内容になると思う。

事務局）委員ご指摘のように修正を検討する。

委員）「まちづくりの柱7-③」のなかに、「適切な避難行動」とあるが、長期的な避難についての意味合いが入っているのであれば、避難所運営においては、女性の視点、多様性に配慮が必要であることから、「女性の視点、多様性に配慮した防災教育」にしたらどうか。

委員）避難行動の中に、長期的な避難は読み取れないと思うので、避難生活に関して追記したほうが良い。

委員）市民は、他県で起きている災害を見ているので、発災時は逃げる行動はとれるか

もしれないが、長期的な避難生活についての考えはあまり持っていないと思うので、避難生活に関しての文言も入れて良いと思う。

事務局) 避難行動の後に、多様な視点を入れた避難所生活についての記述を検討する。

委員) 「まちづくりの柱8」のリード文の文言の順序を下の項目の順番に合わせた方が良くと思うので、「環境負荷の低減」、「資源の循環」、「資源環境の保全」の順にしたらどうか。

また、⑤「良質な水資源の確保と水質保全」の文章内の、生活排水処理の処理が重複しているため削除した方がよい。

また、④「環境を大切に作る人づくり」と⑤「良質な水資源の確保と水質保全」の記載順については、逆にした方がいいのではと考えていた。①～③は、自然・環境について言っているので、最後に人づくりについての記述に変更する方が良いバランスだと思う。

事務局) 指摘の方向で修正を検討する。

○資料1 答申案について質疑

委員) 答申は、審議会の意見などを考慮して基本構想案としてとりまとめたため答申する、それと、①～⑤の審議会が出された意見などに配慮して基本計画を策定してほしい、という意味合いがあると思うので、「…答申する。」と「…配慮されたい。」の2つの文章にした方がわかりやすい。文章としては、「…としてとりまとめたので、答申する。」、「審議の過程で出された意見並びに下記の事項等について十分配慮されたい。」とした方がよい。

また、今後策定していくのは、基本計画なので、施策の計画より基本計画にした方がよい。

事務局) 委員指摘のとおり修正する。

委員) ③のなかの「孤立化した子育て」は基本構想の答申では具体すぎないか。

委員) 基本構想の14ページ、「まちづくりの柱5-①」に記載がある。また、少子高齢化対策においては、大きな課題である事項なので、強調すべきものである。

委員) 基本計画で踏み込む項目ではないのか。

委員) 女性のみにより子育てを押し付け孤立することが、少子化の原因であると考えている。基本構想の答申で抽象的な内容で書き、基本計画で具体的に書くというより、社会全体で、本気になってこの課題に向き合うという意識を鮮明にするためにも、この答申に書くべきだと思う。

職場を含めた社会全体で支えるということは、今まででも言われてきたことなので、これだけでは弱いと思う。問題の本質として、孤立化した子育てについての記述は入れて頂きたい。

委員) ④のなかの「異業種連携」については、基本計画で書く項目ではないか。

委員) 一般化していくと、イノベーションの話になる。様々な業種での連携が進むとあらたなイノベーションが進み、新しい産業が生まれるという意味合いである。

委員) 異業種間連携は手法の一つであるので、「異業種間の連携などによる産業創出」に修正してはどうか。

事務局) 委員ご指摘の通り修正する。

委員) それぞれの文章のなかで「取り組まれない」や「推進されたい」とあるが、計画策定時における言い回しなので、「検討されたい」に統一されたらどうか。

事務局) 委員ご指摘の通り、統一した表現に修正する。

委員) ③に「少子高齢化対策」とあるが、少子化対策の内容しか書いてないように読める。

委員) 孤立化した介護についても問題である。「子育てや介護の孤立化を防ぎ」にしたらどうか。

事務局) 検討する。

委員) ③の「都市基盤整備においても、公共交通の…」とあるが、言いたいことはわかるが、少しわかりにくいので、整理する必要がある。

事務局) ここでは、高齢化対策としての例示として公共交通について書いている。文章の繋がりを検討して、わかりやすくなるよう修正する。

委員) ①「心の豊かさや多様性を重視する価値観、…」とあるが、価値観は変わってきているのに、実態がそんなに変わっていないことにより様々な問題が発生しているので、施策に反映させ改善に取り組む、という流れが良いと思うので、「心の豊かさや多様性の重視、他者の尊重など、時代の変化に伴い人の在り方や関わり方に関する価値観も大きく変容している。」という内容でどうか。

事務局) 修正を検討する。

委員) ④に「市内就職につなげる」とあるが、沼津市内で就職してもらえることが一番良いが、沼津にいらなくても沼津を素材にして沼津のために仕事をするということがあり得ると思うので、削除してもいいと考えている。

事務局) 修正を検討する。

委員) 答申文の内容は、基本計画で検討してほしい内容、キーワードを書くべきと思うが、柱すべてを網羅している訳でないため、少し中途半端な感じがする。

委員) 具体的なキーワードを書きすぎると、文章のバランスが悪くなると思うので、主な内容に止め、「審議の過程で出された意見に配慮されたい」という記述でカバーしたいと考える。

委員) ②に「「誇り」意識の市民への浸透や…」とあるが、少し上からの目線に感じるので、「市民の誇りを活かし…」というような趣旨の記述にしたらどうか。

事務局) 修正を検討する。

委員) ⑤に「今後の基本計画等において」とあるが、上段の文章内に入れるので、削除でよい。

事務局) 削除する。

3 その他

事務局より、本日審議された内容を反映した答申案を、審議会委員に照会し、会長と相談したうえで、答申文とし、市長に答申する旨説明。

4 閉会